要領様式第１号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

該当する部分

のみ記載する

事業者の概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業者  （中小企業者、非営利団体） | 名称 | 株式会社○○○○○○○○○○ | | | |
| 代表者氏名 | 代表取締役社長　静岡太郎 | | | |
| 住所 | 〒○○○－○○○○  東京都○○○○○○○○○○○○ | | | |
| 県内の主たる  事業所  （本社が県外にある中小企業者） | 名称 | ○○○○支社 | | | |
| 所在地 | 〒○○○－○○○○  静岡県○○○○○○○○○○○○ | | | |
| エネルギー  事業実施体制 | 担当部署名（新エネルギー事業部　）従業員数（○○）人 | | | |
| 業種及び規模等  （中小企業者） | 業種 | ○○○○業 | | | |
| 資本金 | ○○,○○○千円 | 常時使用する従業員数 | | ○○人 |
| 主要製造品等 | ○○○○○○○○○○○○○○○○ | | | |
| 年間売上高  （直近） | ○,○○○,○○○千円 | 経常利益 | | ○○○,○○○千円 |
| 団体の概要  （非営利団体） | 活動目的 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を目的に設立 | | | |
| 活動内容 | ・○○○○○○○調査・研究  ・○○○○○○○事業の普及啓発、広報活動  ・○○○○○○○事業 | | | |
| 設立年月日 | 平成○年○月○日 | 活動内容の情報発信 | | 年2回会誌を発行 |
| 会員数 | ○○人 | 直近事業年度・事業費 | | ○年4月～○年3月  ○○,○○○円 |
| 事務局 | 常勤（　　　○○　　　　）名　非常勤（　　　　○　　　　　）名 | | | |
| パートナーシップ構築宣言企業 | | 該当する　・　該当しない | | | |
| 担当者連絡先 | 住所 | 〒○○○－○○○○  静岡県○○○○○○○○○○○○ | | | |
| 所属・役職  氏名 | 新エネルギー事業部　小水力発電事業グループ　グループ長  駿河　次郎 | | | |
| 電話番号 | 000-0000-0000 | E-MAIL | 00000@0000.jp | |

要領様式第２号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

事業費用の配分

可能性調査事業、１／４の場合

(単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 費目 | 事業に要する費用 | | 補助対象費用の額 | | 補助率  (補助上限額) | 補助金の  交付申請額 |
| 金額 | 説明 | 金額 | 内訳 |
| 委託費 | 3,000,000 | 現地調査 | 3,000,000 |  | 1/4以内 | 750,000 |
|  | 3,000,000 | 基本設計・図面作成 | 3,000,000 |  | 1/4以内 | 750,000 |
| **（小計）** | **6,000,000** |  | **6,000,000** |  |  | **1,500,000** |
| 使用料 | 200,000 | 調査機器賃借料 | 200,000 |  | 1/4以内 | 50,000 |
|  | 100,000 | データ測定施設利用料 | 100,000 |  | 1/4以内 | 25,000 |
| **（小計）** | **300,000** |  | **300,000** |  |  | **75,000** |
| 謝金旅費 | 50,000 | 外部専門家に対する謝金 | 50,000 |  | 1/4以内 | 12,500 |
| **（小計）** | **50,000** |  | **300,000** |  |  | **12,500** |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  | 対象外経費は  原則別発注とする。  対象外経費を含む場合は  その内訳が分かるように記載する |  |  |
|  |  | 対象経費であることが  分かるように  見積書単位などで  業務内容を記載 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 対象経費区分で記載  該当ない場合は省略  （設備導入の場合）  ・詳細設計費  ・機械装置等購入費  ・工事費 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  | 小数点以下切り捨て |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  | 事業区分による補助上限額を超える金額での申請はできません |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | 6,350,000 |  | 6,350,000 |  | (2,250,000) | 1,587,500 |
| 消費税 | 635,000 |  | 635,000 |  |  |  |
| 総計 | 6,985,000 |  | 6,985,000 |  |  |  |

要領様式第３号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

可能性調査事業の場合

事業の概要（共通）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | ○○○市○○○用水への小水力発電の導入可能性調査 | |
| 実施体制  ・役割分担 | （事業者内の実施体制、各担当者の資格の有無、外部組織との連携体制・役割分担）  （発電事業者）  委託  （水文調査）  株式会社○○○○○○○  株式会社△△△△△△  使用料  （機器・設備の賃借）  株式会社□□□研究所 | |
| 事業の公益的取組事項 | 事業の便益の地域への還元に関する取組 | （売却益還元、雇用創出、維持管理の委託など地域社会との連携等の取組があれば記載してください） |
| 地域の安定的なエネルギー供給への貢献に関する取り組み | （非常時の電源供給、電力の地域利用など地域社会との連携等の取組があれば記載してください） |
| その他 |  |
| 事業の効果 | 他地点への波及の可能性 | （採用する機器、技術、工事方法、ノウハウなどがどういうところで利用できる可能性があるかなどを具体的に記載してください） |
| 事業実施による小水力・バイオマス・温泉エネルギー利用拡大に係る貢献 | （その他、コスト低減技術の採用など、事業の実施が小水力・バイオマスの導入の拡大に資する事項があれば記載してください） |
| 許認可・  地元対応 | 関係者との合意形成の状況 | （地権者、水利権者、地元自治体・地元住民との間で調整・合意形成している事項があれば記載してください。） |
| 法令、許認可等に関する諸手続きの状況 | （河川法、電気事業法など関係法令の手続き状況について記載してください。） |
| 系統連携に関する調整の状況 | （電気事業者との調整状況について記載してください。） |
| その他実施上問題となる事項 | （その他特筆すべき事項があれば記載してください） |

要領様式第４号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

事業の概要（可能性調査事業）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査の概要※ | （調査項目）  （既存資料調査、現地調査により把握する事項を各々記載してください（例：流量、落差、周辺環境、アクセス、法規制の状況、水利権の有無・種類））  （調査方法）  （既存資料調査・現地調査の別、現地調査の調査方法及び使用機器などを記載してください。また、有識者や地元へのヒアリング調査についても記載してください。） | |
| 調査地点※ | 所在地 | 静岡県○○市○○ |
| 地点の名称 | ○○○○ |
| 調査地点の施設管理者 | ○○○○市 |
| 調査地点選定の根拠※ | （地点特性と事業内容の合致などの観点で具体的に記載してください。）  予備調査の結果、弊社で設置実績の多い○○○○○○○○式水車を活用できる○○や○○といった条件があり、既存の水利権の従属により導入可能であることから選定する。 | |
| 導入想定設備※ | （設備種別、設備規模、燃料、バイオマス依存率など））  95ｋＷ（○ｔ/h混焼ボイラー、使用燃料：木質チップ及び石炭、バイオマス依存率85％） | |
| 設備導入に向けた実現性 | （小水力：導入可能性・採算性に関する見込み、バイオマス：材料の継続的な調達など事業実現性の見込みなどを記載してください）予備調査やヒアリングによれば、水量が通年で確保されている可能性が高く、既存の水利権の従属により導入可能であり、時間のかかる法手続きも不要であるほか、施設の管理者である市や土地の所有者からの賃借についても内諾を得ている。検討中の水車は、汎用性が高く低コストな設備であり、大規模な土地造成･設置工事も不要であることから、十分な実現性が見込まれる。 | |
| 調査事業後の設備導入に向けた事業計画 | 事業実施計画  ○年○月～○年○月　○○○○○○○○○○○○詳細設計  ○年○月～○年○月　機器設置工事  ○年○月～　　　　　稼動開始  事業実施体制  発電事業者：○○○○○○○○○  維持管理者：○○○○○○  電力利用者：○○○○○○（○○○○○○協定を○○○○と締結予定） | |

注１）適地調査の場合は、※箇所のみ記入。

注２）調査地点の場所がわかる地図、水系・流量・燃料資源・温泉資源に関する資料を添付すること。

要領様式第４号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

事業の概要（設備導入事業（１））

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業実施場所 | 住所 | 静岡県○○○○○○○○○○○○ | | | |
| 設置場所の施設名称 | ○○○○○ | | | |
| 施設管理者 | ○○○○○会社　○○○○ | | | |
| 導入する発電設備及び熱利用設備 | （設備種別、設備規模、燃料、バイオマス依存率など））  水力発電、○kW（○○水車、○○発電機、○kW×○台） | | | | |
| 設備及びシステムの概要  （小水力発電） | 水系及び使用河川名 | 水系名：  ○○○○○川 | 取水河川名：  ○○○○○川 | | 放水河川名：  ○○○○○川 |
| 流量 | 豊水時：○○㎥/s | 平水時：○○㎥/s | | 渇水時：○○㎥/s |
| 取水設備 | ○○株式会社の現在使われていない取水設備を利用 | | | |
| 発電方式 | ○○水車○○方式 | | | |
| 使用水量  該当する部分  のみ記載する | ○○㎥／ｓ | | | |
| 落差 | 総落差：○○ｍ | | 有効落差：○○ｍ | |
| 出力 | 最大出力○○kW | | | |
| 水車 | （種類、容量、台数）  ○○水車、○○kW、○台 | | | |
| 発電機 | （種類、容量、台数）  ○○モーター、○○kW、○台 | | | |
| 発電システムの特徴 | ○○会社の○○システム　○○の利点があり、○○等で採用実績あり  ○○により災害時の○○を監視し、○○により制御する。 | | | |
| 設備及びシステムの概要  （小水力発電以外） | 燃料資源（バイオマス、温泉付随ガス） | （種類、調達計画）  木質ペレット  ○○会社から購入　○t | | | |
| 温泉資源（温泉熱利用、温泉熱発電） | （源泉温度、源泉利用状況、利用可能湯量、泉質の状況） | | | |
| 設備仕様 | （設備名称、出力・規模、仕様、特徴）  ○○装置（発電出力○○kW×○機、熱○○kW×○機）  ○○方式のガス化炉  燃料は○○○ | | | |
| 主な周辺機器等の仕様 | ○○ユニット（型式○○）  ○○ユニット（型式○○）  サイロ　○台  その他（○○装置、○○装置） | | | |

要領様式第４号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

事業の概要（設備導入事業（２））

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| その他の  工事概要 | （建築工事、土木工事、電気工事の概要）  配管工事（○○のための○○）  電気工事（監視装置、警報装置、配電工事）  土工事（埋設配管）  建築工事（○○○・補助対象外） | |
| 費用対効果 | （計算式：補助金交付申請額（百万円）／設置予定設備容量（kW（相当）））  ○○円／○○ｋＷ＝○○○≒○○円／kW | |
| エネルギーの使用用途 | 利用施設 | 自社の○○設備 |
| 利用施設の年間エネルギー消費量 | ○○○kW |
| エネルギー使用用途 | ○○○部門 |
| 売電する想定電力量 | （系統連携する場合）  ○○kW |
| 推定年間エネルギー供給量と経済性 | 予定設備利用率 | ○○.○％（○○日／年） |
| 想定年間エネルギー供給量 | ○○○kWh |
| 想定年間収入 | エネルギー供給先（売電先）  ○○電力会社  エネルギー供給計画と想定収入  ○○○と計画しており、○○万円の想定収入 |
| 省エネルギー、廃棄物削減等による想定年間コスト低減額 | 低減されるコストの概要  ○○の○○○を利用する  コスト低減効果の算定  ○○万円／年 |
| 資源・場所の年間想定利用費 | 資源の種類  （バイオマス、チップなど）  土地  資源・場所の利用にかかる経費（燃料購入費、土地・施設等使用料　等）  ○円 |
| 想定年間維持管理費 | 維持管理計画（体制・スケジュール）  ・自社の○○○事業所○○課で保守管理  ・水車と発電機の維持管理、運営は、○○○㈱へ業務委託  年間維持管理費（維持管理、メンテナンス費用等）  ○○円 |
| その他収入・経費 | （具体的なものがあれば記載） |
| 投資回収年数  （収支見通し） | （計算式：初期投資額／（収入＋コスト低減額―施設･場所利用―維持管理±その他））  ○○円／（○○円＋○○円－○○円－○○円－○○円）＝○年 |

注）位置図、現地写真、水系・流量・燃料資源・温泉資源に関する資料、導入機器のカタログ、システム概要図、工事図面等を添付すること。

要領様式第５号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

支出明細表

可能性調査事業、１／２の場合

(単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 支払内容 | 支払先 | 支払額  （税抜） | 補助額  （税抜） | 支払日  （入金日） | 備考 |
| 委託費 | ○○バイオマス調査業務 | ㈱△△コンサルタント | 1,276,364 | 638,182 | R5.2.25 | 番号1-1 |
| **（小計）** |  |  | **1,276,364** | **638,182** |  |  |
| 使用料 | ○○委員会会場使用料（10/12分） | ○○会議室管理会社 | 4,909 | 2,454 | R4.10.19 | 番号2-1 |
|  | ○○委員会会場使用料（12/6分） | ○○会議室管理会社 | 4,909 | 2,454 | R4.12.20 | 番号2-2 |
| **（小計）** |  |  | **9,818** | **4,908** |  |  |
| 謝金旅費 | ○○委員会委員謝金旅費（10/12分） | ○○大学○教授 | 15,091 | 7,545 | R4.10.29 | 番号3-1 |
|  | ○○委員会委員謝金旅費（10/12分） | ■■大学■教授 | 10,209 | 5,104 | R4.10.29 | 番号3-2 |
|  | ○○委員会委員謝金旅費（12/6分） | ○○大学○教授 | 15,091 | 7,545 | R5.1.11 | 番号3-3 |
|  | ○○委員会委員謝金旅費（12/6分） | ■■大学■教授 | 10,209 | 5,104 | R5.1.11 | 番号3-4 |
| **（小計）** |  |  | **50,600** | **25,298** |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 支払ごとに記入する  振込手数料は除く  支払額は請求書の金額と合致する  一括発注などで、請求金額に補助対象外経費を含む場合には、その内訳を請求書にて明示してもらう  対象外経費が分かるように本表でまとめる  区分ごとの計と収支決算書を合致させる |  |  |  |  |
|  |  |  |  | 請求書・領収書と突合ができるよう、請求書・領収書をナンバリング、その番号を記入する |  |  |
|  |  |  |  | 小数点以下切り捨て  （補助率以内のため） |  |  |
| 対象経費区分で記載  該当ない場合は省略  （設備導入の場合）  ・詳細設計費  ・機械装置等購入費  ・工事費 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  | 交付決定額を超える金額での実績報告はできません |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  | 1,336,782 | 668,388 |  |  |

要領様式第６号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

見え消しにする

入札の場合

入札・見積比較表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 業務名 | ○○委託業務  見積の場合は記入なし  （斜線とする） | | |
| 入札日時  （入札の場合のみ） | 令和４年９月17日（金）10：00／本社○○会議室 | | |
| 予算額（税抜） | 3,000,000円 | | |
| 入札・見積者名称 | 入札・見積価格（税抜） | 結果 | 採用理由※ |
| （株）Ａコンサルタント | 3,250,000円 |  | 見積の場合は決定ではなく  採用と記載する |
| （株）Ｂ総合研究所 | 2,250,000円 | 決定 |  |
| Ｃ分析調査（株） | 2,500,000円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
|  | 円 |  |  |
| 消費税及び地方消費税相当額 | | 225,000円 | |
| 契約金額 | | 2,475,000円 | |

※採用理由欄は見積合わせの場合に最低価格以外の者を採用したときに記載する。

要領様式第７号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

取得財産管理台帳

申請者名：○○株式会社

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 財産名 | 規格 | 数量 | 取得金額（円） | 取得年月日 | 耐用年数 | 設置・保管場所 |
| １ | ○○水車 | （型式など） | ３基 | 22,000,000 | R5.2.10 | 22 | ○○発電所 |
| ２ | ○○発電機 | （型式など） | ３基 | 6,000,000 | R5.3.8 | 22 | ○○発電所 |
| ３ | ○○盤 | （型式など） | ４面 | 5,000,000 | R5.2.1 | 22 | ○○発電所 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  | 設備導入事業のみ  ５０万円以上の取得財産を記載すること |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

注１）取得金額には、機器購入費及び工事費（按分した額）を計上してください。

注２）小水力発電設備の耐用年数は、電気業用は22年、その他は20年としてください。

注３）事業実施前後の写真及び取得財産の写真を添付すること。

要領様式第８号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

事業達成状況報告書

事業者名　○○株式会社

（報告者：部署　○○部　　担当者名　○○　○○　連絡先　000-000-0000　　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | | ○○○○○○○工事（交付申請に記載した事業名とする） | | |
| 総事業費  採択年度の状況を記載 | | ○○,○○○千円 | 補助金額 | ○○,○○○千円 |
| 令和○年度可能性調査結果 | 導入可能性結果 | ○○○○○○○水系を対象に、現地調査及び既存資料調査を実施し、水量が通年で確保されていることが判明した。またその水量に合わせて、○○○○○式水車（○kW）の導入可能性がある。調査箇所に設置ができれば、大規模な土地造成も不要である。 | | |
| 導入に向けた課題 | 地権者、水利権者、地元自治体・地元住民との間で調整・合意形成の実施  河川法、電気事業法など関係法令の手続き  電気事業者との調整状況  機器選定　など具体的に記入ください | | |
| 解決策 | （具体的にご記入ください） | | |
| スケジュール  報告年度の状況を記載 | ○年○月　地権者、水利権者、地元自治体・地元住民との合意形成完了  ○年○月　河川法、電気事業法など関係法令の手続き  ○年○月　電気事業者との調整  ○年○月　設計（機器選定）  ○年○月　工事　　　　　　　　など具体的に記入ください | | |
| 令和○年度の導入に向けた取組内容 | 取組内容 | （上記の課題等に対する取り組み内容を記載） | | |
| 導入に向けた課題 | （未解決の課題を記載） | | |
| 解決策 | （具体的にご記入ください） | | |
| スケジュール | （見直したスケジュールを記載） | | |

要領様式第９号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

設備利用状況報告書（１）

事業者名　○○株式会社

（報告者：部署　○○部　　担当者名　○○　○○　連絡先　000-000-0000　　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | | ○○○○○○○工事（交付申請に記載した事業名とする） | | |
| 総事業費 | | ○○,○○○千円 | 補助金額 | ○○,○○○千円 |
| 設備名称 | | ○○○○発電所　　←　発電設備の名称 | | |
| 設備仕様 | | ○○○○水車、○○○○発電機（出力：○○○kW）、○○○○kWh/年、使用水量最大○○○m３/s、有効落差○○.○ｍ（最大使用水量時） | | |
| 設備耐用年数 | | ○年 | | |
| システムの特徴  採択年度の状況を記載 | | ・○○○な制御を可能とする監視制御システムを有する  ・使用水量○○m3/sと少量の水量でも可能な○○式水車を採用している  ・○○な機構をもつ除塵機（防塵機）を採用し、取水設備から水車までのゴミが少なく、メンテナンスが容易である  ・既存の○○○を取水設備を有効利用している  申請書等で記載していた、導入後にPRできるポイントとしていることなど | | |
| 令和○年度設備導入時の計画 | 燃料資源 | （資源種類）  小水力（○○○川（or○○用水or○○下水処理設備）から取水）  （資源調達計画）  上記の取水について河川法に基づく流水占有許可を取得  取水許可期間：令和○年○月○日～令和○年○月○日  想定事業期間：令和○年○月○日～令和○年○月○日 | | |
| 収入 | （系統連携の有無）  有　or　無  （エネルギー供給先）  ○○○○株式会社（電力会社名） or　自家消費  （供給先での利用用途）供給先でどうしているか実情に合わせる  一般電気事業者へ売電　or　自社の○○設備への供給  （エネルギー供給計画）  年間○○○MWh（kWh） | | |
| 維持管理体制 | ・自社の○○○事業所○○課で保守管理  ・水車と発電機の維持管理、運営は、○○○㈱へ業務委託  ・電気保安業務は電気管理技術者へ委託  ・発電所の日常管理は、地域住民・自治会へ依頼している  導入した発電設備の維持管理で責任をもっているのは誰（自社の所属、委託先）なのか、実態を記載する | | |
| 投資回収年数 | 投資額÷（収入－燃料資源－施設･場所利用費用－維持管理）  ＝○○○○千円÷（△△△千円／年－０円／年－□□□千円／年－■■■千円／年）＝○○○≒◎年  導入時点で想定していた経費の項目及びそれぞれの金額を記載する | | |

要領様式第９号（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

設備利用状況報告書（２）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 令和◎年度実績 | 設備稼働実績 | （月別実績）別紙報告でも可  別紙内訳のとおり合計　8270.8　h　別紙の合計値と合うように記載する |
| 発電・熱供給実績 | （月別実績）別紙報告でも可  別紙内訳のとおり合計　1,209,950　kWh |
| 売電・熱供給による収入実績 | （内訳）別紙報告でも可  別紙内訳のとおり合計　39,383,900　千円 |
| エネルギー利用用途  報告年度の状況を記載 | （系統連携の有無）  有　or　無  （エネルギー供給先）  ○○○○株式会社（電力会社名） or 自社の○○設備への供給  （供給先での利用用途）供給先でどうしているか実情に合わせる  一般需要家に供給　or　自社の○○事業を行う○○設備への供給  （エネルギー供給実績）  年間○○○MWh（kWh） |
| 維持管理費用 | （費目別維持管理費）  ○○○○委託費○○○千円／年  △△△△委託費△△△千円／年　合計　　□□□千円／年  維持管理での外部委託、除塵機（防塵機）で収集したゴミ（塵芥）の処理費用など、実態に合わせて経費として発生した費用を記載 |
| 維持管理体制 | ・自社の○○○事業所○○課で保守管理  ・水車と発電機の維持管理、運営は、○○○㈱へ業務委託  ・電気保安業務は電気管理技術者へ委託  ・発電所の日常管理は、地域住民・自治会へ依頼している |
| 燃料資源 | （資源種類）  小水力（○○○川（or○○用水or○○下水処理設備）から取水）  （資源調達実績）バイオマスなどであれば費用  ○○㎥／ｓ |
| 投資回収年数 | 投資額÷（収入－燃料資源－施設･場所利用費用－維持管理）  ＝○○○○千円÷（△△△千円／年－０円／年－□□□千円／年－■■■千円／年）＝○○○≒◎年  報告年度実績を踏まえて経費の項目及びそれぞれの金額を記載する |
| 見学会 | （見学会開催数）　　　◎　回　　　　（見学者数）　　　　　○　名  （次世代エネルギーパークの登録）有・無 |
| その他効果 | ・年間約○○○トンのCO２削減　・構内の公園を地元の人たちが利用  ・周辺地域（関連事業者）へのPR、地元の広報誌取り上げられるなどにより、地域社会（業界）へのエネルギー地産地消への意識向上に貢献している  売電収入、自家消費以外での社会や周辺地域への影響・効果を記載 |
| その他課題 | ・○月頃に全国的な渇水時期があり、安定的な総業に苦慮した  ・台風○号による増水・瓦礫の流入などで取水設備が破損し、一時的に運転できず、思うような発電収入が得られなかった。  ・導入した発電機に故障が多く、修繕費が想定より多く発生しているほか、安定的な運転ができていない  トラブルや運転を継続の課題を記載する、特になければ、特になしでよい。 |